

第13回 がんばれ西高!

山陰中央新報掲載! ヤングこだま



松江西高

小・中・高校生から専門学校生、大学生まで、若い人たちの意見を特集するコーナー「ヤングこだま」です。今回は松江西高校2年生の皆さんの作品です。学校、学級単位での投稿を募っています。投稿希望の学校は「ヤングこだま」係・電話0852(332)3305までご連絡ください。

迷いつつ何かを見つけた

2年 松浦 果穂

「努力する」とは一体どんなことだろうか。これまで頑張れば「努力する」というんだらうか。私には分からない。また努力したことが一度もないから、分からないのかもしれない。



これがやってみないと何度が頑張ったこととはあったが、だんだんどうでもよくなってきて、結局放りだしてしまふ。私は今、そんな感じだ。最初は「絶対諦めない」という強い気持ちでいて、もだんだん冷めてきて、気が付けば諦めている。いろいろなことがしてみたいと思っても、途中で

何か私を迷わせ、気持ちを変えていく。私の意志が弱いのもかもしれない。こんなただの言いわけじゃないと思うけど、本当のことだから、と言うしかない。

小さいことでコツコツとやっていくなんて私には無理。きっと私は一度大きな失敗をしなげれば一生努力なんじゃないだろう。何か私を奮い立たせないかぎり、私のなりたいたい私にはなれないだろう。

今の私には何も無い。飛び抜けてすごいものを持っているわけでもない。得意なことは何ですかと言われれば、きっと何も答えることができない。

でも、私は迷いつついく中で、何かが見つかると思う。見つければそ

みんなの力で環境問題解決

2年 吉田 翔太

「捨てちゃえ」と言葉をよく耳にし、学校の行き帰りに、家の周りの吸い殻や新聞紙などが捨てられているのを見掛けたります。大人がたばこの火も消さずに車の窓から捨てるのを見掛けます。

車の窓から火が消えていないたばこを投げ、もし、それが子どもに当たったらやけどする恐れがあります。もよく道で見掛けます。なぜ道にあき缶やペットボトルを捨てるのか、私にはよく分かりません。ごみ箱があるので、そこ



もよく道で見掛けます。なぜ道にあき缶やペットボトルを捨てるのか、私にはよく分かりません。ごみ箱があるので、そこ

に入れるのが普通だと思います。子どもでもちゃんと入れます。大人が道に捨てると、それを見た子どもたちがまねをするかもしれない。そんなことしたら、道のごみが増えることになるので、大きな環境問題になると思います。

道路は安全に楽しく通行を

2年 多久和 輝

「おい、君」と大人の人に呼び止められ、「自転車は車道を走らないで、歩道を通っていいのよ。楽しく安全に自転車に乗るにはどうしたらいいのよ。そこで私なら」と注意を受けました。その時初めて自転車は車道を走らないといけないんだと思ひ、その日から車道を通行するようになりました。



数日たった日に、今度りと考えてみました。自転車は車道を走らないで、歩道を通っていいのよ。楽しく安全に自転車に乗るにはどうしたらいいのよ。そこで私なら」と注意を受けました。その時初めて自転車は車道を走らないで、歩道を通っていいのよ。楽しく安全に自転車に乗るにはどうしたらいいのよ。そこで私なら」と注意を受けました。

ます。車道のように歩道の中心にも線が引いてあり、そこに分かりやすい絵で歩行者用、自転車用と表示してあります。こういって工夫がある場所だったら問題なく安全に通行できると思います。一方、危ないな、工夫した方がいいなと思った所もあります。それは松江市の堀川周辺です。観光客や車の通行も多く、

近くにも学校もあるのでとても危険だと思います。だから、歩道を広くするか、柵を設けるか、歩道と自転車道を区別できる線を設けるなど工夫をした方がいいと思います。他にも工夫したほうがいい場所などあると思うので、少しずつ危険な所を減らし、みんなで安全で楽しい通行をしたいです。

自分の思いや意見が明確で、素晴らしい文章だと思います。これからも書き続けてください!